

子どもの学習意欲の向上にむけて

ボストン日本語学校 教務部

本年度、ボストン日本語学校では、「子どもの学習意欲の向上」をテーマに研修を続けております。子どもの学習意欲の向上のために、①「めあて」②「まとめ」③「導入」④「展開」をキーワードに、子どもたちとどのような授業を創り上げていくのか、研究授業を含め、学年内で話し合いをもつようにしています。

子どもたちに身につけさせる力は発達段階によって違ってきますので、各部でテーマを絞りました。

研修テーマ

<幼稚部>

「それぞれの発達段階に応じたクラス活動の展開を工夫し、子どもの語彙を広げていくことを目指す」

<小低部>

「学ぶポイントをわかりやすくおさためあてを立てる」

<小中部>

「展開部分の時間配分」(授業は基本的に、めあて→導入→展開→まとめという流れで進められています。)

<小高部>

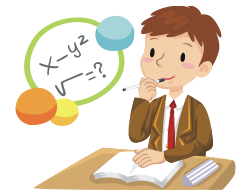
「学習のめあてをはっきりとらえさせ、短い時間での学習をより効果的に進めていく」

<中高部>

「めあてを明確にし、学習の理解度を確認する」

<日本語部>

「毎回、授業のめあてを立て、生徒達が学びやすいように、効率的な授業を行う」



保護者の皆様には、年間を通じて、子どもたちがどのような成長をしているのか、ぜひ、日本語学校での様子を聞いていただくとともに、学習の状況を見守っていただきたいと思っております。

子どもたちが日本語学校で前向きな気持ちで授業に取り組むためには、ご家庭との密接な連携が不可欠です。本校では「家庭は第二の学校 保護者は第二の教師」と位置付けています。とりわけ、国語、算数(数学)の学習につきましては本校での努力もさることながら、ご家庭における日々の積み重ねを第一義とし、重視していただきたいと願っております。

子どもの教育に関わる、素敵な言葉を紹介いたします。

アメリカの教育学者 ドロシー・ロー・ノルト
「子ども」

批判ばかりされた子どもは
非難することをおぼえる

殴られて大きくなった子どもは
力にたよることを覚える

笑いものにされた子どもは
ものを言わずにいることをおぼえる

皮肉にさらされた子どもは
鈍い良心のもちぬしとなる

しかし、激励を受けた子どもは
自信をおぼえる

寛容にであつた子どもは
忍耐をおぼえる

賞賛をうけた子どもは
評価することをおぼえる

フェアプレーを経験した子どもは
公正をおぼえる

友情を知る子どもは
親切を覚える

安心を経験した子どもは
信頼をおぼえる

可愛がられ抱きしめられた子どもは
世界中の愛情を感じることをおぼえる



学校と家庭両方で手を取り合って子どもたちを育てていきましょう。